

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		消防団施設等管理事業				②事業番号		1411	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		昭和 31 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令 ○ 条例 ○ 規則		要綱		計画等		○ その他 法令等の名称	
⑦実施手法		直営		全部委託		一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		8		項		1	
⑨担当部名		総合政策部		⑩担当課名		危機管理課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 泉南市消防団		① 泉南市消防団		団体	
②		②			
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
消防団機械器具置場(格納施設)の整備及びポンプ車等緊急車両・機械器具の維持管理。		① 機械器具格納施設数		箇所	
		② 消防団車両台数		台	
		③			
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
災害発生時に迅速・適切な消防・防災活動を行うことができる。		① 車両更新台数		台	
		計算式		—	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
地域の防災拠点である消防団機械器具置場(格納施設)及び消防団車両を適切に維持管理することにより、消防力の充実強化を図る。		政策(章) 4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち			
		施策大(節) 1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします			
		施策中 2 消防・救急体制の充実			
		施策小 3 施設・設備の充実			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	泉南市消防団	団体	5	5	5	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	機械器具格納施設数	箇所	5	5	5	—	—	
活動指標②	消防団車両台数	台	13	13	13	—	—	—
活動指標③								
成果指標①	車両更新台数	台	1	0	1	—	—	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.22	0.22	0.28	0.28		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,767	1,767	2,270	2,270		H30年度は、消防ポンプ車を購入したため。
	直接事業費	千円	6,158	5,779	28,485	4,039		
	総事業費	千円	7,925	7,546	30,755	6,309		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	30	1,000	0	0		
	一般財源	千円	7,895	6,546	30,755	6,309		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	昭和31年9月泉南町発足に伴い旧町村の消防団が泉南町消防団に統一されたため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	多様化している災害等に対応するため、資機材整備の検討が必要。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	消防団機械器具置き場(格納施設)及び消防団車両の適正な維持管理により、災害発生時に迅速かつ適切な消防活動が行える。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	法に基づいて設置されている消防団の維持管理に必要な事業である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	火災その他の災害から市民の生命、身体、財産を守り、被害の軽減を図ることを目的としている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市民の生命・財産を守る消防団の存続に関わる事業のため廃止できない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	消防団機械器具置き場(格納庫)及び消防団車両の適正な維持管理により、災害発生時に迅速かつ適切な消防防災活動が実施できている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	計画的に車両更新や資機材の共有の検討。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民の生命、財産を守るための消防活動を確保するために必要最小限の事業費であり、削減の余地はない。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民の安心安全を守るため、消防防災活動の基本である消防団機械器具置き場(格納庫)及び消防団車両を適切に維持管理することは市の責務であり受益者負担を求める余地はない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当
	A	市民の安心安全を守る消防防災活動を行う上で、施設等の維持管理及び消防防災活動に伴う車両の管理については市の責務であるため今後も継続を望む。	B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—